

# 図書館だより

武雄高等学校図書館 図書指導部

令和4年 2月4日発行

No.10



## 寄贈本のお知らせ



県より幕末・維新期の佐賀の偉業や県内の偉人を多く知っていただけるようにと、寄贈がありました。ぜひ、興味ある人は図書館へどうぞ！！

今年は暦の上では2月4日が立春。しかし、まだまだ寒い日が続いています。

3年生にとって、卒業式まであとわずかとなりました。体調に気をつけて、残りの高校生活で充実した日々を送ってください。

3年生の皆さんに“サクラ咲く”春が来ることを願っています。



### ◆3年生の皆さんへ大切なお知らせ◆

## 2月10日までに

### 図書館の本の返却・赤本・青本の返却を完了

### させてください！

※受験に必要な場合のみ貸出を、随時対応していますのでご利用ください。

### 『威風堂々〈上〉 幕末佐賀風雲録』伊東 潤【著】



大隈重信、新しい国家・日本は、この男の登場を待っていた。

名君と謳われた九州佐賀藩主・鍋島直正（閑叟）に見いだされ、歴史舞台に躍り出た大隈重信。動乱の幕末明治を駆け抜け、日本を近代国家へと導いた男の波瀾万丈の生涯を描いた歴史巨篇！この国の未来のために奔走した人々は、薩長土だけにあらず！

### 『威風堂々〈下〉 明治佐賀風雲録』伊東 潤【著】



明治維新を迎え、世界に近代国家としてデビューした日本。

内実は多くの問題を抱えていた…。西郷隆盛、大久保利通、伊藤博文、山縣有朋をはじめとする、薩長による藩閥政治の巨大な壁にも怯まず、テロに遭い片足を失っても、信念のために邁進する大隈重信。

国会開設、政党政治移行、内閣総理大臣就任、そして早稲田大学創設。後の日本の礎を築いた偉人の生涯を描く歴史巨篇。

## 2022年ノミネート作決定！ 本屋大賞



Supported by NOLTY PAGEM 手帳ブランドNOLTY/PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。

1月20日に、第19回日本の書店員が選ぶ「本屋大賞」にノミネートされた10作品が左のように発表されました。  
本屋大賞は、全国の書店員が、「自分が読んで面白かった」「人に勧めたい」「自分の店で売りたい」など思った本を選び投票するものです。  
これら、10作品は、本校図書館に随時入荷してきますので閲覧できます。  
4月6日に、この中から、「2022年本屋大賞」が発表されます。どの作品が大賞になるか楽しみですね！

# 新刊図書案内

《第41回「全国高校生読書体験記コンクール」集英社より50冊の文庫本を寄贈頂きました》

## 『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂 冬馬【著】



1942年、独ソ戦のさなか、モスクワ近郊の村に住む狩りの名手セラフィマの暮らしは、突如奪われる。

日常と家族を奪った敵に復讐をはたすべく、中央女性狙撃訓練学校で、一流の狙撃兵になることを決意したセラフィマ。

同じような境遇で家族を喪い、戦うことを選んだ仲間たちとともに訓練を重ねながら、やがてセラフィマは、赤軍女性狙撃小隊の一員としてスターリングラードの前線へ向かうことに…。

## 『このミステリーがすごい!』大賞受賞作

### 『特許やぶりの女王 弁理士・大鳳未来』 南原 詠【著】



特許権をタテに企業から巨額の賠償金をせしめていた凄腕の女性弁理士・大鳳未来が、「特許侵害を警告された企業を守る」ことを専門とする特許法律事務所を立ち上げた。

今回のクライアントは、映像技術の特許権侵害を警告され活動停止を迫られる人 VTuber・天ノ川トリイ。未来はさまざまな企業の思惑が絡んでいることに気付き、そして、いちかばちかの秘策に…!

## 『アメリカの高校生が学んでいるお金の教科書』

### アンドリュー・O・スミス【著】/桜田 直美【訳】



大富豪が多いと言われるアメリカなどの欧米諸国では、早期から子どもへの金融教育が導入されています。

そんな中で本書では、アメリカの高校生が学んでいる教養として必ず身につけるべき、「世界標準のお金との付き合い方の基礎知識の教科書(稼ぎ方、貯め方、増やし方)」をひもとき、一冊にまとめます。

『TAS 特別師弟捜査員』(中山七里)

『読書は格闘技』(瀧本哲史)

『STORY MARKET 恋愛小説編』(集英社文庫編集)

『太陽の子 GIFT OF FIRE』(樹島千草)

『ももこの世界あっちこっちめぐり』(さくらももこ)

『短編宇宙』(集英社文庫編集)

『すべてのドアを鎖せ』(ライリー・セイガー)

『ボーダーズ』(堂場瞬一)

『明智小五郎事件簿 戦後編』(江戸川乱歩)

『いつかどこかで 子どもの詩ベスト 147』(谷川俊太郎)

『ホラー作家八街七瀬の、伝奇小説事件簿』(竹林七草)

『カモフラージュ』(松井玲奈)

『金の角持つ子どもたち』(藤岡陽子)

『丘の上の賢人 旅屋おかえり』(原田マハ)

『サクラオト』(彩坂美月)

『小説 ノイズ (noise)』(黒木あるじ)

『悲しきデブ猫ちゃん』(早見和真)

『この恋は世界でいちばん美しい雨』(宇山佳佑)

『本と鍵の季節』(米澤穂信)

『夜と少女』(ギヨーム・ミュッソ)

『不審者』(伊岡 瞬)

『短編ホテル』(集英社文庫編集)

『これが「日本の民主主義」!』(池上彰)

『トナリの怪談』(シークエンスはやもと)

『青少年のための小説入門』(久保寺健彦)

など・・・

